

福井県DX推進本部 第1回本部会議

令和3年4月28日



～次第～

- 1 本部長 挨拶
- 2 DX推進監 挨拶
- 3 今後のDX推進に向けて
- 4 各部からの報告



1 本部長 挨拶

福井県知事 杉本 達治



2 DX推進監 挨拶

DX推進監 米倉 広毅



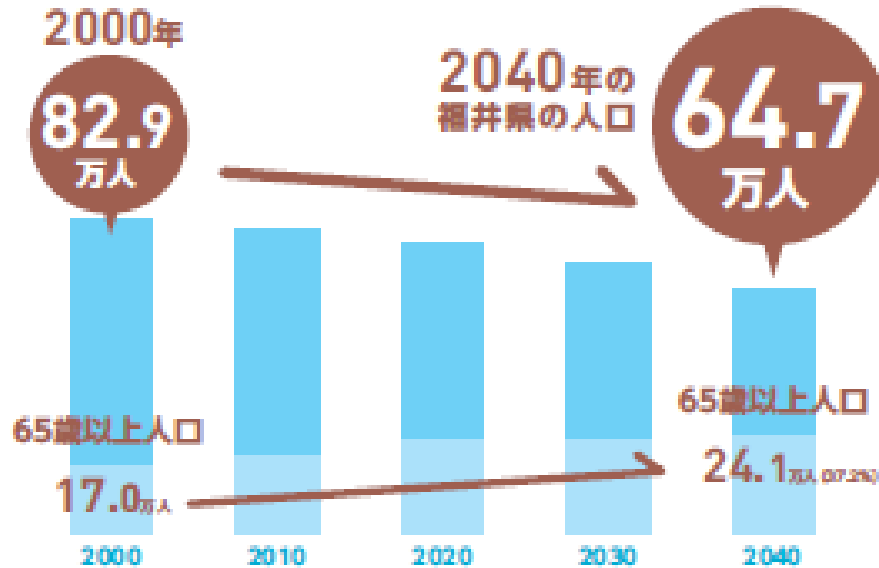
3 今後のDX推進に向けて





本県を取り巻く課題

人口減少



福井県の人口は、2000年の82.9万人を最大に以降は減少し、2040年には64.7万人となり、65歳以上の人口はピークに達すると予想されています。

福井県長期ビジョンより抜粋

課題は山積

- ・ **人口減少・高齡化**による人手不足
- ・ **持続的な地域経済**の確立（生産性向上・地域内循環）
- ・ **自然災害の頻発・激甚化**（降雪・洪水等）
- ・ **車社会**における将来の**地域交通確保**
- ・ **コロナ禍**による非接触・分散型社会への対応（ニューノーマルの生活様式に向けたDXの加速拡大）



本県における機会・期待

大交流化

北陸新幹線

2024

2024年春 福井・敦賀開業

2030年度 全線開業(仮定)



中部縦貫自動車道

2023

2023年 大野・和泉間開通

2026年 和泉・油坂間開通



リニア中央新幹線

2027

2027年 名古屋開業

2037年 全線開業(仮定)



北陸新幹線など高速交通体系の整備により、国内外に開かれ、立地条件が格段に向上します。

期待の高まり

- ・ **高速交通網整備**による立地条件向上
- ・ **地勢**を活かした取組
(嶺南Eコースト・敦賀スマート港湾)
- ・ **豊かな生活環境** (自然・食・日本一の教育等)
- ・ 全国トップレベルの**働きやすさ**
- ・ **都市と地方の関係**の変容
(分散型社会へのシフト・ローカルの重視機運)

福井県長期ビジョンより抜粋



今後目指すべき社会 (福井県長期ビジョンの実現に向けて)

人口減に対応する**生産性の高いスマートな社会**

外に開いて人を呼び込む、
都市部至近の豊かで安心安全な**「くらしの先進地」**

(県民一人ひとりのアクションにDXを取り入れ、誰もが挑戦)





DXの目的と役割

仕事や暮らしを、生産性高く・より魅力的で豊かなものへ変革していく上で、デジタル技術等を積極的に活用。

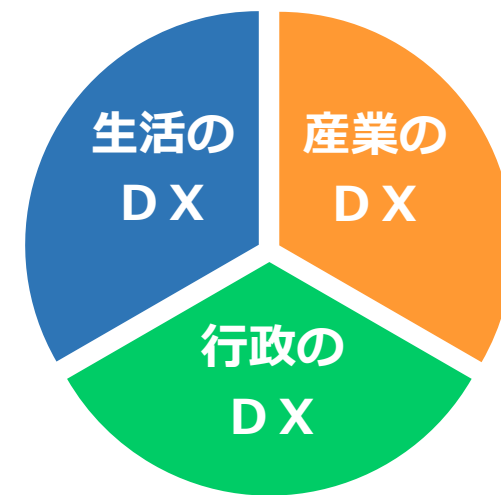
「自らの働き方・組織・風土の変革」と「県民・産業・市町等との協働」により、DX効果を実感して頂きながら社会実装し、地域の課題解決や新たな価値創造につなげていく。

「スマートふくい」の実現



DX推進の方向性 (福井県DX推進プログラムver1.0)

生活・産業・行政の各分野において
幅広くデジタル技術を実装



生活のDX 県民生活の質の向上

(スマート×まちづくり、交通、防災、教育 等)

産業のDX 県内産業の高付加価値化

(スマート×ものづくり、農林水産業、観光 等)

行政のDX デジタル自治体の実現

(スマート×県庁、市町、広報広聴 等)



DX推進の3本柱

みずから
変わる

みんな
で
変わる

ふくいが
変わる



「みずから」変わる

DXありきで考え、実務プロセスを意識的に変革

何を目指すか

- データにより現状を「見える化」、**先手先手の政策**
- 省力化・自動化により**業務の生産性を向上**
- 利用者目線で**コネクテッドワンストップ**を実現
- **デジタルファースト**で「まずはやってみる」文化を形成



「みずから」変わる

現状と目指す姿のギャップを埋め、DXが定着する仕組み

何をするか

- **職員のデジタルリテラシー向上・DXツール活用**
(DX研修、業務遂行のデジタル合宿、RPA等の活用、若手職員とのアイデアソン、表彰等)
- **データサイエンスを自然に活用できる仕組み作り**
(EBPM実践のためのビッグデータ準備、データサイエンティスト活用可能な環境整備 等)
- **庁内の推進・相談体制の整備**
(DX推進本部を司令塔にトップダウンで推進、各部局の積極的な取組・連携を支援・促進)



「みんなで」変わる

県民・産業・市町等のDX推進の挑戦をサポート

何を目指すか

- 不安を抱えつつ挑戦する**県民や企業等の背中を押し、誰一人取り残さない**環境を整備
- 「チームふくい」が挑戦しやすい環境を整備することで、**県庁を超えた新たな価値創造**を下支え
- **国・県・市町がスクラム**を組んで行政のDXを推進



「みんなで」変わる

地に足をつけて実行、多様なアイデア・力と協働

何をするか

- **県民のDX活用、県内企業のDX変革を支援・促進**
(民間等と連携したデバイド対策、産業の生産性・利便性向上に資する資金・人的支援等)
- **オープンデータの積極的な公開・活用等**
- **県・市町のシステム共同化の検討**
(稼働・コストの軽減、データ流通・ワンストップでのサービス提供等を検討)



「ふくいが」変わる

実感できる価値を提供し、地域課題解決の最先端を目指す

何を目指すか

- イノベーションを通じた、**地域社会・地域経済を活性化**
- 最先端の教育や安心安全な福祉・防災体制等、人を呼び込む魅力となる、**暮らしの質的向上**
- **新しいデジタル技術**を用いた地域課題の解決
- **ワンストップ行政**による快適な手続・パーソナルな対応



「ふくいが」変わる

成功事例の見える化・展開により機運を醸成し、
より大きな取組につなげていく

何をするか

- **「福井県DX推進プログラム」の機動的対応**
(生活・産業・行政の各分野でスピード感を持って実行、Test&Learnで随時見直し)
- **徹底現場主義での課題解決を推進**
(シビックテックの推進、プロジェクト誘致補助金の創設等)
- **「小さな成功事例」の積み重ねと展開による機運醸成、
福井ならではのスマートエリア形成を推進**
(嶺南スマートエネルギーエリア、敦賀スマート港湾、新幹線駅周辺のまちづくり等)



DX推進の3本柱

みずから
変わる

みんな
で
変わる

ふくいが
変わる

4 各部からの報告





ふくい × DX

みずから変わる、みんなで変わる、ふくいが変わる